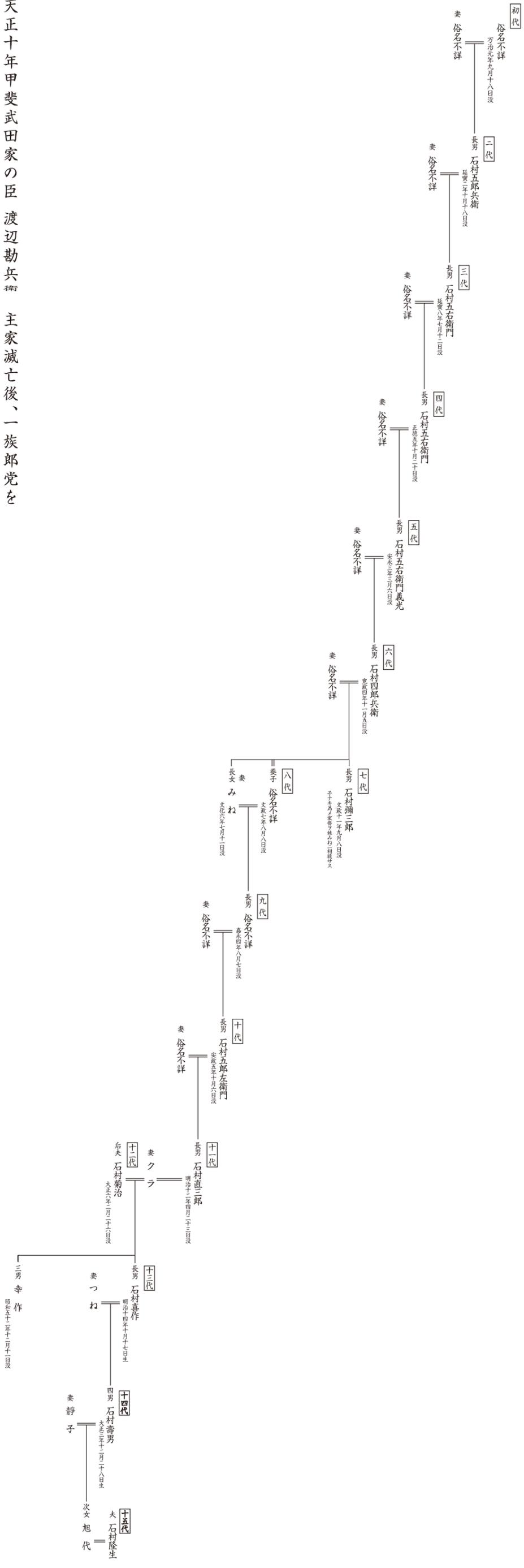


石村家家系図

菩提所 足柄下郡仙石原 曹洞宗長安寺



天正十年甲斐武田家の臣 渡辺勘兵衛 主家滅亡後、一族郎党を
引き具し相模国仙石原に落ち延び隠棲し、郷里石和村に因んで
姓を石村と称し、従者は悉く勝俣姓を名乗る。
爾来七十年間世を忍ぶ隠遁生活時代とて詳らかならざるも、明
暦年間石村五郎兵衛の代に至り幕府に見出され小田原大久保藩
の客分として出仕、仙石裏閨所御定番役に取り立てられ明治維
新まで約二百年間に亘りて御役を世襲す。
甲斐より移住以来星霜を重ねる実に四百二十余年、連綿として
今日に至る。